

令和7年度「がんと向き合う週間」の実施報告

R7.11.20

長野県健康福祉部 疾病・感染症対策課

令和7年度 「がんと向き合う週間」の実施報告

県では、「長野県がん対策推進条例」において
毎年10月15日からの一週間を「がんと向き合う週間」と定めている。

取組内容

◆ がん検診の受診率向上、がん予防に向けた取組

(1) 疾病・感染症対策課

- ・がん啓発のシンボルカラー（ラベンダー色）でのライトアップ
- ・しなの鉄道の車内モニター広告によるがん検診受診の啓発
- ・9月定例会における知事や議員等のがん啓発のアルクマピンバッジの着用
- ・がん検診受診啓発ポケットティッシュ、チラシの配布

(2) 保健福祉事務所

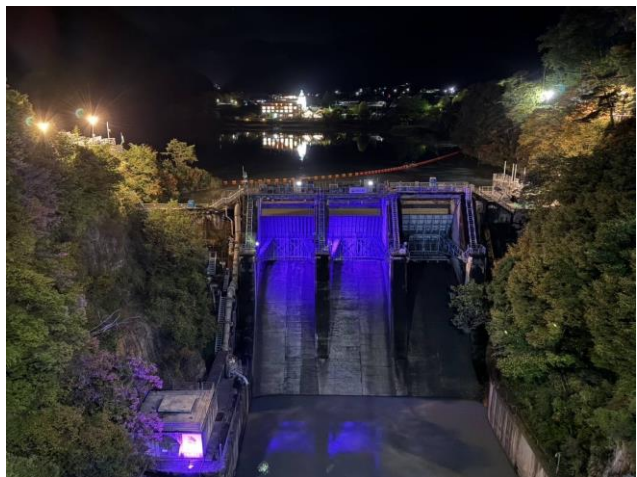
- ・地域のイベントでポスターを掲示し、チラシ、リーフレット等を配布
- ・管内のがん対策推進企業連携協定締結企業にポスター及び市町村がん検診日程カレンダーの配布
- ・地域のスーパーで啓発物品（リーフレット、トイレットペーパー等）を配布
- ・合同庁舎内放送による職員向け啓発
- ・がん予防研修会の開催
- ・大腸がん検診啓発用リーフレット、ポスターの活用

◆ がんとの共生のための取組

- ・両立支援カードの配布

ラベンダー色でのライトアップ

- ◆ 県民のがんへの関心を高める機会とするため、「がんと向き合う週間」中に、高遠ダム（10月15日～10月21日）、善光寺（10月18日）、松本城（10月19日）を、がん啓発のシンボルカラー（ラベンダー色）でライトアップした。



高遠ダム



善光寺



松本城

しなの鉄道の車内モニター広告による啓発

- ◆ しなの鉄道の車内モニター広告において、がん検診受診啓発の広告を掲載。
- ◆ 10月1日～10月31日の期間に掲載。



車内モニター広告

アルクマラベンダーリボンピンバッジ

- ◆ 有限会社BIGWAVEと協力し、がん啓発のシンボルカラーであるラベンダー色を用いたアルクマピンバッジを作製。
- ◆ 県としてがんの予防や早期発見の重要性を広く周知するとともに、患者やその家族の皆様への支援の意思を示すため、9月定例会中の会議において、知事や県議会議員の皆様等にアルクマピンバッジを着用いただいた。



アルクマラベンダーリボンピンバッジ

がん検診受診啓発ポケットティッシュの配布

- ◆ 長野駅東口やイオンモール松本での街頭啓発活動時に配布。
- ◆ 保健所に1箱（500個）ずつ配布。保健所による街頭啓発活動時等に配布。



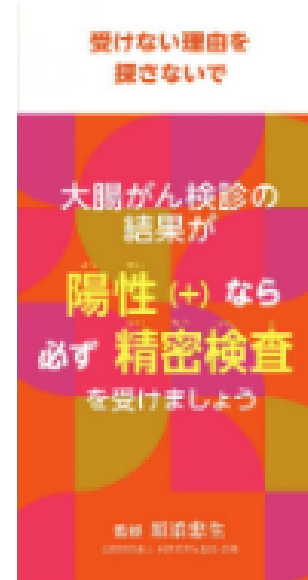
イオンモール松本での啓発の様子



配布したポケットティッシュ

大腸がんについて

- ◆ 協定企業、市町村、保健所において、啓発資材を必要数発注し、週間に合わせた啓発に活用。
(報告数合計：ポスターデータ772枚分、冊子約7,416部)



その他

◆ がん予防研修会の開催。

がん予防研修会とは、がんに対する正しい知識を身につけ、予防方法や検診の必要性を理解するとともに、周囲にもその内容を広めていただくことを目的に開催している。対象者は、企業、県民等。

講習の様子を撮影した動画データと資料を提供して視聴してもらうが、保健福祉事務所の保健師を派遣して講習を実施することもある。

令和6年度の実績

開催回数 4回（うち対面開催は2回）

参加者数 431名

利用団体

- ・長野県がん対策推進企業等連携協定締結企業の従業員
- ・市町村等

新たに診断されたがん（2021）

全国

988,900例

長野県

16,499例



長野県における、20歳～69歳までのがん罹患数（上皮内がん含まない）

長野県	1位	2位	3位	4位	5位
男性	大腸	前立腺	肺	胃	悪性リンパ腫
女性	乳房	子宮	大腸	肺	卵巣
男女計	乳房	大腸	肺	前立腺	胃

男性は大腸がん、女性は乳がんが多い